



2014 年全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第 6 戦 白馬ラウンド

2014 年 8 月 2 日（土）～3 日（日）白馬村飯森特設周回コース 1 周 1.6 km

主催 日本学生自転車競技連盟（JICF）
共催 長野県自転車競技連盟
主管 長野県自転車競技連盟
協賛 JA全農長野、JA大北農業協同組合、安曇野アートヒルズ、ローソン神城店、白馬五竜&47索道協議会、南信ヤクルト

Comunique No1

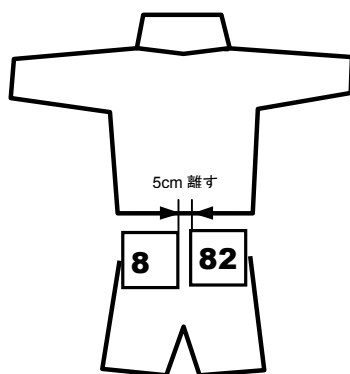
2014 年 7 月 30 日

チーフコミッサー 岩間光輝

1. ゼッケンの取り付けについて

大会受付時に配布するゼッケンの取り付けは下記のとおりとする。レース参加選手は、自分の出走番号を確認のうえ、下記所定の位置に取り付けること。（取り付けのための金具等は各自で用意すること。）

また、フレーム番号を配布するので、フレーム前方右側にテープ等で取り付けること。



2. 暑さ対策等について

暑さが予想されます。各自、自己責任のもと、自転車走行中の健康管理に留意してください。また、許容範囲を超えて、無理して走行を続けることのないようにしてください。

3. 落雷が予想される場合について

レース中、落雷の恐れがあると判断した場合は、レースを中止することがある。

選手及び監督は、レース中における本部からのアナウンスに注意すること。

4. ニュートラリゼーションの適用について

「認められる事故」が発生した場合、バイクコミッサーに申し許可を受けた者に限り、ニュートラリゼーションの適用を受けられる。また、対応完了後レースに復帰する場合には、バイクコミッサーの許可を受けた後に、もと居た集団の最後尾に復帰できる。ただし、復帰直後の中間スプリント獲得には参加できない。

最後の3周回目に「認められる事故」に逢った者は、もと居た集団の最後尾に復帰した後、最終スプリントに参加できる。

以 上



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



2014 年全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第 6 戦 白馬ラウンド

2014 年 8 月 2 日 (土) ~ 3 日 (日) 白馬村飯森特設周回コース 1 周 1.6 km

主催 日本学生自転車競技連盟 (JICF)
 共催 長野県自転車競技連盟
 主管 長野県自転車競技連盟
 協賛 JA全農長野、JA大北農業協同組合、安曇野アートヒルズ、ローソン神城店、白馬五竜&47索道協議会
 南信ヤクルト

Comuniqué No2

2014 年 7 月 30 日

大会総務委員長 武田 彰

誓約書について

本大会については、出走により Comuniqué No2 の誓約内容を承諾したものとみなします。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟
 会長 村岡 功 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第 5 条 2. (4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第 5 条 2. (9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI 規則 1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI 規則 1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
 彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI 規則 1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
 すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI 規則 1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
 競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI 規則 1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
 競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI 規則 1.2.082)

記

期 間 2014 年 8 月 2 日 ~ 2014 年 8 月 3 日
 大会名称 2014 年全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第 6 戦 白馬ラウンド
 会 場 長野県北安曇野郡白馬村飯森 特設周回コース

2014 年 8 月 2 日



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>